

(エ) 伝統的ものづくり事業者対象セミナー

1 事業概要

高松ならではの伝統的ものづくりを守り、さらに魅力あるものとして発展させるため、高松市伝統的ものづくりに指定している23品目の中から、伝統的ものづくり人材育成県外派遣事業の金沢市派遣メンバーを中心にいくつかの作品を集め、展示販売会を開催した。また、講師を招き、ものづくりに携わっている方向けのセミナー&ディスカッションを開催した。

2 企画展示展「工芸運動@高松」

(1) 概要

日時	平成29年10月4日(水)～10月10日(火) 11時～19時30分
場所	まちのシューレ963 大ギャラリー (高松市丸亀町13-3 高松丸亀町参番街東館2階)
出展者	【庵治石】AJI PROJECT、落合重石材、(有)島本石材工業、中山石材工房、古川石材 【香川漆器】さめきうるし森羅 Sinra、宗家後藤益、中田漆木 【菓子木型】(有)市原 【讃岐かがり手まり】讃岐かがり手まり保存会 【保多織】岩部保多織本舗 【盆栽】花澤明春園 【理平焼】理平焼窯元 (7分野・13事業者)

(2) 販売額

7日間合計 購入者数53名、売上高728,388円
(1名平均購入額 13,743円)

(3) 成果及び課題

- ・ 伝統工芸品を購入してみたいという消費者は少なくないが、価格の面で購入をためらう場合が多い。1週間では購入検討の期間が短いため、展示販売には少なくとも週末を2回挟む期間の設定が必要。
- ・ 伝統工芸品の価値と価格が適正であることを示すため、作り手の手技や熱意等をより伝える必要がある。
- ・ 庵治石と漆、保多織と東かがわ市の縫製等、他分野とのコラボレーション商品は来場者からも評判が良く、より一層の発展が望ましい。
- ・ 広報の時期を早め、マスコミ等の取材も促し、来客数増加を目指す。

平成29年度高松市伝統的ものづくり振興事業 実績報告

3 セミナー&ディスカッション「つたえる、を伝える」

(1) 概要

日時	平成29年10月6日(金) 17時30分～19時30分
場所	まちのシューレ963 大ギャラリー
講師	英 誠一郎：(株)四国新聞社メディア室メディア事業部 竹内 哲也：スマイルゲート(株)代表取締役
対象	ものづくりに携わっている方
参加者	53名

(2) セミナー内容

第1部

講師の竹内哲也氏より、変わりゆく消費生活者・小売店の売り場やバイヤーの現状報告、流通の立場からみた表現の重要性についての話があった。

第2部

講師の英誠一郎氏より、セルフブランディング、今から始められるインターネットを使った発信の方法についての話があった。

第3部

来場者に記入してもらったディスカッションカード(質問票)をもとに、講師2人と司会者としてディスカッションを行った。

